



くれ

1021号
2026年1月20日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

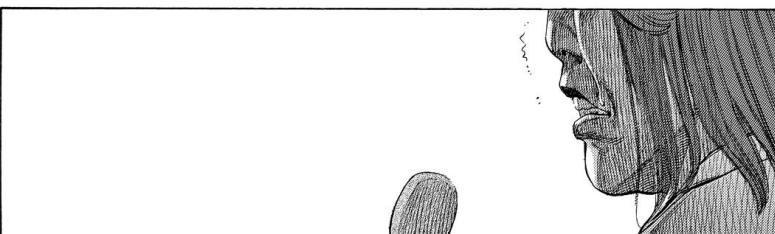
←中国地本HPへ
PC・スマートホンからこの
情報が閲覧可！



メールはこちら→

遣る瀬無い気持ち

朝…電話が
ありました



ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

今後の予定

●1月24日(土) 13:00~

第14回地方委員会

広島オフィスセンター

●1月24日(土) 15:30~

地本新年会

博多ぶあいそ離

問題点を改善できる優秀な呉郵便局になつて欲しいと願います。

対抗で販売個数を競わせるやり方は、やる気のある社員の「やる気」を削ぐ愚行だと言わざるを得ません。

呉郵便局の問題点 改善か改悪か放置か

呉局では、以前から問題提起しているように、改善しなければいけないことが非常に多くあります。

まず一つ目は、時間着手と休憩時間内着手です。区画再編や減配装置等で定時では終われない状況にあるのが一番の原因です。不適正点呼がなぜ起こったのか会社は理解

何とか定時で終わらせたいという思いから行動でしきうが、会社の思つぽです。時間外に

班員同士はお互い様なので復帰したときに感謝の気持ちを伝える位でよいと思いませんが、会社として「出勤するのが当たり前」だと思わないで下さい。予定をキャンセルしたり、睡眠時間が少ないと嘆いていました。班員も実際にいるの

で休みを返上して出勤した社員や任務を変更して出勤となつた社員に対して手当がないことは非ピールしたいのか、会社として時間外の着手を容認しているようにしか見えません。その証拠に、それ以上に一切注意をしていないどころか、見て見ぬふりを

しているのと指摘もあります。やるべきことをやがないというのが現場の声です。ちなみに休息時間は殆ど取れていないのが現状です。会社は把握できているのでしょうか？

最後に営業の強要について。先述の通り配達業務が逼迫している中、声かけや販売の強要は社員の安全面を一切考慮していません。どうしてもやりたまつ無いのはどうかと思いま

す。それでもやりたまつ無い愚策でしかありません。いないのであれば、まずは物的にも精神的にも余裕のある区画設定や人員配置にするべきです。

実は、営業が得意だという社員がいるようですが、しかし、時間にゆとりがない声を掛ける暇すらないと嘆いていました。班員不足です。病気や労災等で突然休まれる方がいらっしゃいます。それ自体は悪いことではあります。されませんが、突然の呼び出